

# 市政に対する

## 一般質問

一般質問は9月3日、4日に行われ、9人の議員が豪雨対策、指定管理制度、地域防災計画などの幅広い分野の質問をしました。ここでは質問と答弁の一部を要約してお伝えします。

### 小林啓子議員

- 胃がん対策に公費助成でピロリ菌ABCリスク検査の導入について
- がんに関する教育について
- 市立図書館の指定管理制度への導入について

### 宮杉勝男議員

- 集中豪雨対策について

### 大久保忠三議員

- 中4丁目教職員住宅地の跡地利用について
- 長倉小の東側、市道336号線の整備について
- 学校施設の照明器具LED化について

### 松本章議員

- 来年6月制定予定の「空き家条例」について
- 日曜開庁について
- 独居のお年寄りの見守り体制について

### 小林順一議員

- 「幸手市中央地区産業団地整備」企業誘致の進捗状況と今後の施策について
- 地域活性化「シニア世代との協働による地域づくり」について

### 松田雅代議員

- 「香日向小学校跡地利用」事業過程の検証について
- 第5次総合振興計画後期計画策定について
- 各種相談の利用状況について
- 豪雨対策について

### 小林英雄議員

- 指定管理者について
- 権現堂公園管理事務所について

### 本田謡子議員

- 地域防災計画について
- 市民の安全を守る市役所の夜間体制について
- 建設工事公衆災害防止対策について
- 香日向小学校跡地について

### 木村治夫議員

- 地域経済対策について
- 幸手市地域防災計画について
- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）について

- それぞれの内容の詳細は会議録及び市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例議会の会議録は12月上旬頃公開予定です。

## ピロリ菌ABCリスク検査の導入を



小林啓子議員

**Q**

胃がんの原因がピロリ菌であることが特定のひとつとされ、ピロリ菌検査と除菌を有効に活用し、胃がん撲滅を図るべきと考える。市の事業目的である早期発見・早期治療を推進するうえからも早期発見・予防を目指し、胃がんリスク検査を導入すべきと思うが、市としての考えを伺う。

**A**

胃がん検診による早期発見、早期治療は、大変重要であると認識している。

ABCリスク検査を導入している自治体も一部あるが、厚生労働省がん研究班がまとめた「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン」によると、ABCリスク検査は、胃がんの死亡率減少効果の有無を判断するには不十分であるため、公費で行う検診として推奨できないとしている。

現在、同研究班は、ガイドラインの更新版を作成しているが、市では、国の研究や検討を可能な限り反映し、有効な胃がん検診が実施できるよう、今後も国の動向を注視していきたいと考えている。

(健康福祉部長)



## 集中豪雨被害とその対策は



宮杉勝男議員

**Q**

幸手市で7月27日にあった集中豪雨について伺う。

- (1) 豪雨の規模
- (2) 被害状況（浸水か所・浸水高・退水時間）
- (3) 被害に対して講じた対策
- (4) 今後の対策（中川に排水できないか・桜高等学校の校庭に一時保水できないか・各場所にあった対策を地元と協議し早急に

**A**

対応できないか)

降雨の規模は総雨量93.5mm、1時間当たり最大51mmである。道路冠水は8か所、最大で3時間51分の通行止めが1か所である。被害に対して講じた対策は、当日は災害対策班を招集してパトロール、交通整理、情報収集、翌日は道路冠水か所の清掃等を行った。今後の対策として、仮設ポンプの常設的な設置と排水能力の増強を考えている。桜高校へは要望して

いきたい。また、中川への排水については現状では倉松川に排水することが一番効果があると考えている。

(市民生活部長)





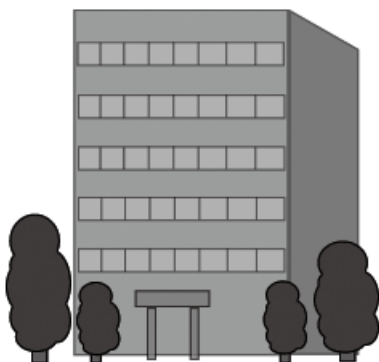
松本章議員

日曜開庁は増やせないか？

**Q** 核家族化・働き方の多様化に伴い市民ニーズに応えるため、久喜市では毎週日曜日に開庁している。私が視察に行った矢祭町では年中無休で開庁している。幸手市でも毎月、最終日曜日は開庁しているが、日曜開庁を行ってからの利用者の推移について、隔週の日曜日でも開庁できないか伺う。

**A** 毎月最終日曜日に実施している日曜開庁の際の利用者は、初年度の平成19年度は735人、20年度は936人、21年度は1091人、22年度は1307人、23年度は1105人、24年度は1055人であり、平成22年度をピークに減少傾向にある。

開庁回数を増やすことについては、日曜開庁の利用者が減少傾向にあることや市内2か所に自動交付機を設置していること



から、現状の取り組みを進める中で見極めていく。

(総務部長)



大久保忠三議員

売却された教職員住宅跡地の要請、要望は

**Q** 私は一昨年の県政要望で、上田知事に、中4丁目の(旧)教職員住宅2棟の撤去を訴えた。県では住宅地は民間へ売却手続きを進める。との回答であった。

現在は建物が撤去され、民間会社が住宅建設を進めている。跡地は2本の公道、西側は鉄道、そして地内には防災行政無

**A** この跡地については、市が取得して活用していく予定がないため、埼玉県に対して、買い受け希望はないと回答している経緯がある。これにより平成25年4月に民間業者へ売却となった。売却にあたっては、当初から戸建住宅としての用途が限定されており、15棟ほど建設される計画となっている。こ

の開発にあたり、市としての要請・要望は、特に行っていない。また、防災行政無線の設備については、現状のまま維持できるものとなっている。

(総務部長)



産業団地企業誘致の進捗と今後の施策は



小林順一議員

**Q** 圏央道建設が進み幸手市の将来の姿を想像するのは市民の皆様全員の思いではないでしょうか。それと並行して幸手中央地区産業団地整備事業は市において最も重要な事業で、財政面、総合的な都市計画に大きく影響すると考える。県企業局と共に進めている現在の企業誘致の進捗状況、企業との具体

的な協議、幸手市が企業立地奨励措置を講じた、企業誘致条例制定後に企業からの反応を伺う。産業団地整備事業は県企業局が事業主体であり、分譲先も企業局が決定することから、市では具体的な企業との直接的な協議を行っていないが、立地意向調査や個別訪問、金融機関等への情報提供、市ホームページでのPRなどにより、現在46社から関心がある旨の回答を得ている。こうした企

**A** 産業団地整備事業は県企業局が事業主体であり、分譲先も企業局が決定することから、市では具体的な企業との直接的な協議を行っていないが、立地意向調査や個別訪問、金融機関等への情報提供、市ホームページでのPRなどにより、現在46社から関心がある旨の回答を得ている。こうした企

善されるべきと考えるがいかがか。平成24年度に維持管理に要した経費は、光熱水費や警備委託料などで約199万円であった。今後の管理運営は市が活用していく部分の改修費や、空調設備の稼働による光熱水費がさらに増えるものと思われる。

業を市長自らが直接訪問するなど、積極的な誘致活動を行っている。なお、企業誘致条例の制定後は、関心を頂いた企業から新たに取引先企業の紹介を受けるなど、反応は良好である。  
(建設経済部長)



香日向小跡地利用、市民への説明が不十分では



松田雅代議員

**Q** 跡地の全スペースの活用方法が決まった。平成24年度の維持管理にかかった経費と、今後の市の管理運営に必要な費用の見積もりを伺う。

一方、事業遂行プロセスを振り返ると、事前・事後の住民等への説明は不十分であった。住民等への説明の機会はどのように計画していたのか。今後、改

**A** 平成24年度に維持管理に要した経費は、光熱水費や警備委託料などで約199万円であった。今後の管理運営は市が活用していく部分の改修費や、空調設備の稼働による光熱水費がさらに増えるものと思われる。

跡地利用に関し、当初からどのような時期、方法で公表や説明を行うか具体的に決定してい

たわけではないが、公表できるものは公表を行う姿勢で進めていた。市民への説明方法は、状況により、何れの手法が効果的か等考慮し進めていきたい。  
(総務部長)





本田謡子議員

**Q** 震災は、いつやって来るかわかりません。そして、いつ来てもおかしくありません。その中で、市民の安全を守る市役所の夜間体制は、どうなっているのか。

また、本年4月から広域消防となり、近隣市町の夜間体制状況をふまえ、これからの対策について伺う。

**A** 現在の市役所の夜間体制は、警備については民間の警備会社による機械警備を行っており、取り付けてあるセンサーが異常を感じた際にはガードマンが駆けつけることになっている。また電話の取り次ぎは埼玉東部消防組合の幸手消防署にかけ直すアナウンスを行っている。今後の対策として、機械警備と併用しながら、有人による宿直などの夜間対応を検討している。業務内容は、近隣市



町の夜間対応と同様に、主に電話対応、夜間の巡回、戸籍等の受付業務を検討していく  
(総務部長)

## 大丈夫？市役所の夜間体制は



小林英雄議員

**Q** 権現堂第4公園（桜堤）内にあるヤギ小屋の近くに、いつの間にか小屋が建てられたが、それは、ヤギの監視のためということである。その小屋には、TVアンテナが立っており、エアコンも設けられている。設備費は県からの公園管理委託料（県の税金）である。管理委託料は、公園の管理、利用

者のために使うべきものと伺っている。管理者が自分たちのためにつかうことに疑問を感じる。ヤギの監視をするためになぜ小屋・設備が必要なのか伺う。

**A** 権現堂公園では、今年3月から2匹のヤギを飼育している。飼育のための用具等を保管するための物置として、また当初1匹が妊娠しているかもしれないという情報があったため、出産時には昼夜問わず見守りが必要なため、管理小屋と



して建てたもの。  
TVについても、ヤギの飼育に必要な情報（天候や気温等）の収集に活用する。エアコンは、管理者が飼育のための体調管理するために設置した。  
(建設経済部長)

## 権現堂公園に建てられた小屋は何か

## 議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

## 12月定例議会のお知らせ

12月2日開会予定です。  
詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.city.satte.lg.jp>

## ＝ 9月定例議会 ＝

傍聴者	
17の方が傍聴されました。	
議会インターネット中継のアクセス件数	
インターネットを利用した議会中継 (ライブ及び録画)を行っております。	
7月	1233件
8月	442件
9月	1330件
の方が視聴されました。	

- 9月2日 (本会議)
- ・ 開会
  - ・ 会期の決定
  - ・ 報告事項
  - ・ 市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 9月3日・4日 (本会議)
- ・ 市政に対する一般質問
- 9月11日 (本会議)
- ・ 議案に対する質疑
  - ・ 議案の委員会付託

- 9月12日・13日 (委員会)
- ・ 文教厚生常任委員会
- 9月17日 (委員会)
- ・ 総務常任委員会
- 9月19日 (委員会)
- ・ 建設経済常任委員会
- 9月27日
- ・ 委員長報告、質疑、討論
  - ・ 採決
  - ・ 閉会

## 9月定例会 会期日程

## 地域経済政策について市の独自の役割は



木村治夫議員

**Q** 歴史のある街幸手は古くから地域経済・地域社会を持続的発展・拡大して来た、中小規模零細企業への行政としての独自の役割について、また、市の経済成長を促進するためには企業の自主的努力が基である。しかし、厳しい経済変化を乗り越えるために果敢に取り組む、企業者を幅広く生み出す環

**A** 埼玉県では中小企業振興基本条例が制定され、中小企業振興のための施策が展開されており、当市としても、この施策を基に取り組んでいる。現在のところ幸手市独自の基本条例の制定は考えていない。市境づくりを進める事が必要である。企業者が事業展開の基盤となる地域を活性化することが経済活動の拡大につながる。住民福祉の向上に直結した中小企業振興基本条例の取り組みは。

単独で独自の支援策を講じるには限界がある。国・県・商工会と連携し、様々な施策で支援し引き続き協力体制を築いていく。また、今後は企業の実態の把握に努め、市と中小企業の皆さんとどのような繋がり、協力体制、役割分担を持つことが最適かを検討していきたい。

(建設経済部長)